

# 常に様々な視点で物事を捉え、 コンセプトを持って強い信念で行動する。



## 有限会社嘉川タクシー

代表取締役社長 **後藤 聖治**

山口商工会議所 1号議員

昭和39年生まれ。山口市嘉川出身。山口高校卒業後、岡山の大学に進学。大学卒業後、吉南信用金庫（現 西中国信用金庫）に就職。当庫退職後、営業として全国を飛び回っていたが、平成8年、父を助けるため帰郷し、(有)嘉川タクシーに入社。平成9年に代表取締役社長に就任し、現在に至る。

趣味は、少林寺拳法鑑賞（山口県少林寺拳法協会参与及び山口市少林寺拳法協会副会長）と、コミュニティ交通妄想。少林寺拳法は今では全くできませんが、一応2段。

### [企業概要]

住 所：山口市嘉川 4375-9  
T E L：083-989-2102  
U R L：http://www.kagawataxi.com/  
設 立：昭和33年2月18日  
社 員 数：11人

### まず、後藤社長の生い立ちを教えてください。

山口市嘉川で生まれ育ちました。予備校生の時に神戸、大学生の時に岡山で過ごした以外は、嘉川で暮らしています。地域を愛していますし、山口が好きです。

思い出話ですが、神戸に住んでいたときに、事件に巻き込まれた事があります。それも後で判明したのですが…。1984年のグリコ森永事件の際、私は江崎社長の自宅のすぐ近くの下宿に住んでいて、いきつけの喫茶店が、身代金の受け渡し場所に指定されていたのです。何も知らない私と友人は、身代金の受け渡し時間に偶然喫茶店に行ってしまう、その後しばらく犯人と思われて、尾行されていました。

当時住んでいた下宿先のおばさんが、社長宅の前に停まっていた不審車を見たという話を聞き、自分がその話をした場面が、全国放送で流れたというのも驚きました。人生色々なことがあるものだと思います。



社屋外観

### (有)嘉川タクシーについて教えてください。

昭和33年に私の父が、金融機関を辞めて立ち上げた会社です。昭和41年11月に法人化しました。小さな会社ですが、嘉川や佐山などを中心に、地域の方々のおかげで日々忙しくさせていただいています。

弊社は、平成18年5月31日の「世界禁煙デー」から、「タクシー車輛全車禁煙化」を始めました。当時は、タクシーといえば、運転手もたばこを吸うし、お客様もたばこを吸うのが当たり前だったのですが、お客様と社員の健康を守るために、導入する！と決めました。父の持病が喘息で、苦しむ姿を見てきましたので、私自身たばこは好きではありません。当時、「全車禁煙」は全国的にもとても珍しく、周囲からの反対もありました。ですが、平成19年に大分県タクシー協会が全国初の「タクシー車輛全車禁煙」を打ち出し、平成22年山口県でもやっと「全車禁煙」が打ち出されましたが、これは全国42番目でした。

「1番」とか「最初」ということに拘るわけではないのですが、変り者なので、人がやっていないことをやりたいと思っています。もちろん、前例のないことばかりですので、周囲からの反発も受けますし、賛成してもらえないことばかりです。それでも、スローガンに掲げたとおり、「強い信念で行動」します。粋にと

らわれず、様々な角度から物事をとらえる視点を持って、考えて「正しい」と感じたことは、突き進んでいくべきだと思っています。

「最初」というので言えば、禁煙タクシーもその1つですし、山口県の法人では初めて、プリウスタクシーを導入しました。

今では多くの企業が当たり前になっていることも、やはり「変り者」には困難な壁が付きものですね(笑)。

### 会社を継がれる事を決めたきっかけは？

実は、私はこの会社を継ごう、という気持ちが全くありませんでした。大学卒業後は、山口に戻ってこようと、それだけは決めていて、「ちゃんと働いて、社会の厳しさを知れ」という両親の勧めもあり、吉南信用金庫に就職しました。信金時代は、毎日人と会って話をして、成績はトップ。もともと人と話をするのが好きなので、全く苦痛に感じることもなく、毎日が楽しかったもので、社会の厳しさをしっかり学べたかどうかはわかりません。

父が60歳になる頃、持病の喘息がひどく、たびたび入院していました。その様子を見た古参の社員たちから、「いつまでもフラフラしていないで、戻って会社を継いでくれ!」と言われ、それまで私を育ててくれた両親・会社・地域への恩返しのため、平成8年に(有)嘉



川タクシーに入社し、平成9年10月2日、私の33歳の誕生日に社長に就任しました。

就任したその日、突然両親がいなくなりました。父は、「療養に行く」と俵山温泉に行きしばらく戻らず、母は、「娘に会いに行く」と東京にいる姉のところへ行ってしまう…引継もなにもありません。書類のありから、仕事のやりかたまで、手探りと苦勞の連続でした。やっと一段落した頃に、両親が戻ってきて「きちんとやっているか」と一言。あの時は、とにかく苦勞したな…と、今でも思い出します。

### 「コスプレタクシー」という事業をされると伺いましたが？

タクシーは、高いとか怖いとか、そういうイメージを持たれがちですので、そのイメージを払拭したいと思い、平成20年のクリスマスの時期に、運転手にサンタクロースのコスプレをしてもらったのがきっかけです。

その後、節分には「鬼タクシー」、バレンタインには「天使タクシー」など、様々なコスプレを実施しています。乗ってくださるお客様にも、楽しんでいただけているようです。交通ジャーナリストの鈴木文彦氏や、大阪大学、山口大学の教授の皆さんが高く評価してくださって、講演会で我々の取組を紹介され、他社でも是非導入して欲しいと話されています。

コミュニティタクシーの運転手にもコスプレをしてもらいました。コミュニティタクシーには、子ども達も乗車しますので、クリスマスにサンタクロースのコスプレをして、プレゼントを渡すと、みんな大喜びしてくれました。

### 先ほどお話しに出た「コミュニティタクシー」について教えてください。

弊社といえば、コミュニティタクシーです！  
現在、山口市2ルート、宇部市1ルート



も事業を進めようと考えた。しかし、車の乗客に不信感を抱いていたタクシー事業者の側からは、コミュニティタクシーの運行が具体化した後も、なかなか賛成の声は上がらなかった。

後藤氏としても、事業者としての立場からは、決して積極的に賛成する立場ではなかったが、地域維持などに参加するうちに、少しずつ見方が変わっていった。「事業者としての立場だけでなく、交通空白地域の住民、いわゆる交通弱者の側でものを見て見なければいけない」という考えが芽生えた。そして、必ずしも全体的な賛成とはいえない部分もあるものの、タクシー事業者から一定の理解を得て、運行委託という形で協力を受けながら、事業が動き出していくのである。

(B) タクシー事業者のメリット

ところが、実際に運行を開始してみると、コミュニティタクシーの創設は、タクシー事業者にも多くのメリットがあることがわかってきた。「最初は当初から、コミュニティタクシーによって、自社の運行に外出する乗客が少なくなり、タクシーの売上は落ちない」と思っていたが、実際には乗客が落ちるどころか、結果的にタクシーの利用が増えるという意外な効果を生んだのである。

また、コミュニティタクシーはタクシー全体のイメージアップにも大きく貢献しており、一般的にタクシーを利用する際も、コミュニティタクシーを受託している会社を優先する乗客が増えた。また、これまでタクシーを利用していなかった層が、新業態の顧客としてタクシーを利用する機会も増えた。このようにメリットが大きいことが認識されるにつれ、タクシー事業者も意欲的な姿勢をとり、行政・自治体・事業者間の連携が図れるようになった。

現在、各事業者では、新しい車種の導入や、運行委託の契約の検討、停泊場などの

(財) 地方自治研究機構発行の冊子に、山口市の事例として後藤社長の取組が取り上げられています。

運行しています。今は、国をあげて奨励されているコミュニティタクシーですが、私が提案した当初は、同業の方からも、専門家からも行政からも、「反対だ」「できるわけがない」などの猛反発があり、四面楚歌とはこのことか…と思うような状態が続きました。

移動手段がないために外出できないという方の外出支援をすることで、経済の活性化にも繋がりますし、健康寿命の延伸による医療費抑制、公共交通利用による低炭素化で環境対策もできる、とても効率の良い交通手段が「コミュニティタクシー」だと思います。

現在では、地域・行政・業者の三者協働による「コミュニティタクシー」が運行されており、私の提案や働きかけも、無駄では無かったと実感しています。

### 現在取り組まれていることや、今後の目標を教えてください。

昨年、山口県健康福祉部とともに、「コミュニティタクシーを使って、がん検診を！」というキャンペーンを実施しました。これは全国初の取組です。

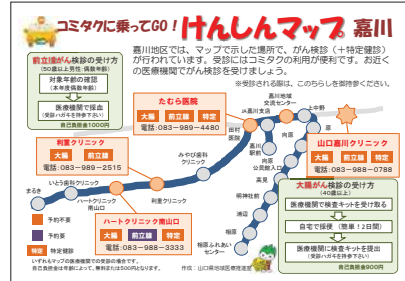


**検診で早期発見！元気で安心な毎日をも！**  
がん検診が必要な理由＝検診でがんは早期に見つかる

早期発見が重要です！  
定期的な検診検診  
検診を受診する

検診には受診ハガキが必要です  
大福・積立・育がん検診は12月20日までお早め！

種別	料金	検診項目
大福	1,000円	胸部X線
積立	1,000円	胸部X線、胃がん検診
育がん検診	2,000円	胸部X線、胃がん検診、大腸がん検診



**コミタクに乗ってGO！けんしんマップ 高川**

高川地区では、マップで示した場所で、がん検診（十特定種別）が行われています。受診にはコミタクの利用が便利です。お近くの医療機関でがん検診を受けましょう。

大福・積立・育がん検診の受付先

- 大福 積立 育がん 電話：083-988-4480
- 大福 積立 育がん 電話：083-988-0788

現在取り組まれている「コミタクでGO！」というコミュニティタクシーを利用したがん検診

山口県は、全国的に見てもがん検診の受診率が低く、がん死亡率が高いのです。みなさん、公共交通を使って、積極的にがん検診を受診してください。予約も必要なく、山口市から届くハガキに★印がついている場合は、



コスプレタクシーの様子  
鬼タクシーとサンタタクシーは、利用する小学生達にも好評です！

無料で受診できます。

弊社は、タクシー事業者としては唯一「山口県がん検診受診促進協力事業者」にも登録されています。年2回の健康診断時に「大腸がん検診」も受診しています。

また、私の趣味（コミュニティ交通に関する妄想）が評価されたのか、現在、中国運輸局の「地域公共交通アドバイザー」を拝命しており、中国運輸局のホームページにも掲載されています。大学の先生方や、行政の方々に混じって唯一の交通事業者ですが、知識については…ご想像にお任せします（笑）。

どこの地域に行っても、「この地域の交通体系はどうなっているのか？」と気になってしまうのは、職業病というよりは、やはり趣味だと思っています。

### 最後に、山口市に対する思いをお聞かせください。

行政の中核があり、大学があり、歴史があり、素晴らしい文化があり、温泉があり…なんて贅沢な市だろう、と思いますが、色々ありすぎて、何がメインなのかが判りづらと思います。各単体で見れば高得点なのに、全体を合わせると及第点になってしまう気がします。

地域公共交通の維持・改善を図り、観光・健康・福祉・教育などの拠点機能をコンパクト化し、ゾーン化したまちづくりを進めれば、より住みやすさが増すと思います。遊園地などもゾーンに分かれているとわかりやすいように、街も各ゾーンになっていけば、わかりやすいのではないかと思います。各ゾーンを繋ぐのが、我々業種の役目です。

私は、学生時代から「絶対にふるさと山口に帰ろう」と思っていました。そういう人が増えて欲しい。人口減少・流出を食い止めるためにも、みんなで知恵を出し合い、努力して、まちづくりを進めたいと思います！